

寺報

龍正寺

日なた 174号

律也な人生
お互いが
助け合おう
華なり
日延



<令和 4年 11月>

宝龍会
護持会

お会式会開催しました

お会式会

日蓮大聖人様のご命日であり、ご報恩のための法要であります。
日蓮大聖様の教えの神髓を少しでも感じて頂ける法要、結縁に
感謝し皆で合掌です！！

※今年はお題目を唱える唱題行を龍正寺では行いました。



祖父江鳳紘上人の指導のもと唱題行
を行いました。



往職一言 お題目

宗祖日蓮大聖人お会式会も終わりました。

当山ではお会式会法要の前に、今年は読誦会を変更し唱題行をおこないました。祖江鳳統上人指導のもと正しいお題目の唱え方をお伝えする事が出来たのではないかと思います。また多くの方に参加頂き盛大に唱題行が出来ました。

お題目は日蓮大聖人が千葉県の清澄寺旭が森にてご来光に向かって第一声を唱えられた事が始まりです(建長5年4月28日 立教開宗)南無妙法蓮華經が今日まで伝えられています。日蓮大聖人御遺文法華題目抄に

「是れ仏道に入る根本は信を以て本とす」と説かれています。日蓮宗教浅10月号では、「お題目によって道は開ける信じることで救いを得られる」、お題目を唱え、自分自身、家族の偉せ安穏な生活があるのではないのでしょうか、お題目は正しく唱える事が大切です。

「なむみょう」と唱えられ方がありますが「なむみょう」と唱えられる方が正しいです。

南無とは妙法蓮華經(法華經)に私は帰依いたしますと意味があります。

妙とは 変化、不思議の事、美しい、すばらしい事を意味します。

法とは 何事かあっても自分自身の心を強くもつ事を意味します

蓮とは 私たちが食べる蓮根のことです、蓮根の育つ場所を人間の位にこの世の中の事を意味します。

華とは 苦しくとも何事にも頑張っていけば、何事にも染まる事なく美しい華が咲くと意味です

経とは 法華経を信じておこなえば“自分自身の思いが叶う”と意味します。

お題目は法華経1部8巻28品69,388余文字のすべてです。信じる事で偉せの人生を自分自身の身体でつかんで下さい。

合 掌

「信」の一字に尽きる

日蓮宗新聞社の教誌「正法の本」を読んである信徒さんの信仰の本馬の内容に目が行きました。

「信仰も仕事も何をするにしても、一度信じたら
ブレずに信じ抜くこと」

住職の指導の中で気づかされた。いかに自分
本立に生きてきたかを反省したという。

指導に従って祈禱を受けお題目の修行に励
めば「力むほど、苦難が襲ってくる。

信徒さんは「今度ばかりは、これまでの信心とは
違う。「菩薩行」の大事な教えに気づかせていただ
いた。諦めるわけにはいかない」と自分に言い
聞かせ仕事に励んだ。

住職は「体に症状がでていたり、逆鏡の憂
き目に遭うのは、〇〇さん自身の心の迷いが現わ
れているのです。この迷いをお題目によって乗り越え
ることが〇〇さんの行ですよ」

その内容を見て今の自分に重なりました。

私は、体のたるさ、力が入らない等の体の症状に
悩まれ、言周べても結果は問題はなく、医師から
は、症状と上手に付き合うしかないと言われ、心と

1本のバランスを保つのが難しと、思って過ぎていました。

時々、信心のブレが出ていて、手を合わせない日もありました。

この本の内容を見た時に、仏様が今の私に一番足りないところを伝えて下さったと思いました。

お題目の大切さを教えていただいているのに、ほかほか、自分の心に入ってこない。

人は苦難にあってこそ『信』を知るのではないか。

丁度、10月9日(日)お会式会で唱題行を行う前に、信じぬくという気持ちへの切り替えができ、

当日、気持ちの変化を味わって、いこうと思いました。

お会式会終えて、お題目により、乗り越えていくことこそが自分の行であることをあらためて思い、おこなっていた、たいた、時間でした。

「父母恩重経」

父に慈恩あり 母に悲恩あり

人の此の世に生まるるは宿業を

因として 父母を縁とせり

父にあらざれば生せず 母にあらざれば

育せず... 父母の恩重きこと天の極まり

無きが如し 善男子善女人別けてこれを

説けば 父母より十種の恩徳あり

十月の内に血を分け 肉をわかちて

月満ちて時到来...

生みし時 母の顔花の如くなりし子の身を

まもらんと願う 成長すれば父の言にした

がやす 母の言に いかりをふくむ 父母に

そむき 兄弟をにくみ きらい うらみある

若者のごとし 成長と共に 父母にさからい
一人で大人へと成長したかのように思う...

「父母のおもき 大海のごとし」

こんな自分をこの世に誕生させてもらったこと

何千何万何億分の1の存在である

自分の手足に触れてみましょう... 鏡に写つて自分を

見つめましょう それはすべて親からの贈り物です

父母の有り難さを大層に思いましょう 自分を大層に
してゆくことが 1番の恩返しとなってゆくようです

気づいているならそれでよし 今気づかなくても

必ずそのことに感謝する時がくる!!

お寺の掲示板に書いておりました

わたしの父は戦死です 若き年代に戦死した

28才で末亡人になった母... 2人の幼い見をどう

育てくれたのかと思っております!! 昔のことだから食べる

ことも大変だったようです 自分の着物とお米と替えて

もらい苦労なんてものではなかったと子供じに

よく聞かされましたがそんな母にも充分な親孝行の
恩返しもできずでございました!! 護国神社さんで
父の永代供養の折に宮司さんより靖国神社さんの
資料館のお話し戦争のことのお話しを聞かせていたた
いた時にいよいよ父とお母の母の苦勞の大変さに気
づくことができました!! わたくしクマでした

父が戦地よりゆが子と思ひ留守を守ってくれる妻への
手紙が今も手元に宝として引き出しの中でねまわって
くれています 拝読すれば涙はグリです
海より深い夢い親の思ひに気づかせていたただけだ
有り難さともやはりご法のおかげ様...お題目の
おかげさまの導き守護と存じます...

何んの恩返しもできませんでしたがこれから
追善供養の父・母に今のわたくしの思ひが届け
ばと思ってみます 供養は自分の心を養うこと
学びました!! 一日一全とご法話より学びました
今日/日の良心の積み重ねがとっても大事であるように
有り難い/日と有り難くよろこびの御礼と申します

南無妙法蓮華經

合掌

親の愛

ある御利用者宅に配食を届けた時でした。

安否確認、食事を配膳すると弁当のフタを開けて「あー私の好きなお赤飯!!」と大喜び。うれしそうにはしゃかれるその姿はとてもチャーミングで97才の老女とは思えませんでした。

2口ほど食べられると、「私の母はね〜。とても厳しい人でした。いつも歳の離れた姉と比べられて…辛かった。」

「あなたはまだもっとしっかりと食べなさい。姿勢が悪い。何故残すの。と食事は叱られてばかりでした。でもね。お赤飯の時だけは、お茶碗に2〜3杯は食べました。すると母が良く食べましたね。えらいえらいとほめてもくれました。きっと今も私の事をじ〜と見てくれて「えらい、えらい」とほめてくれている気がします。」と涙を流しながら「お母さん!! しっかり食べていますよ。」と言われました。

親にとって子供は何歳になるうか、可愛い我が子。子供にとっても老いたとていつまでも親は親です。

ふっ、と父の姿を思い出しました。父も今の私を見てどう思うのだろうか。

私は幼少の頃から病気がち、思春期には反抗ばかりして、

学校を卒業したと思っただけ、さっと結婚した私の事を
嫁先で苦労してないか、食べた物を腹いっぱい食べて
いるか……。長く連絡をしない時は、「どこへ行った何故電話して
来ない!」と怒る父でした。今思えば全てが父の愛でした。
この歳になって父の優しさを身にしみるほど感じます。
そして… 何ひとつ父に恩返し出来ていない事を深く深く
後悔しています。

今は私も幸せですよ。あなたの娘だから…ここまで頑張れ
ました。あなたを見て育ったから強い人になりました。

御利用者の「お母さん見ていて下さいね、もう少しがんばって生
きていきますよ!」の声に私も「お父さん、ありがとう! あなたの
娘である事に誇りを持って生きていきます。」と心の中で
叫びました。父が安心してくれるように悔いのない人生
を送りたいと思います。

南無妙法蓮華經

— 三草二木 —

今年も残すところ2ヶ月となりました。年を重ねる度に1年が短かく感じているのは私だけでしょうか？ 笑

この日なにかを記入している今は、久しぶりの雨模様。今、自分が置かれている状況やお上人様からのお話して法華経のワツのたとえ話の1つ、薬草喻品第五にある三草二木のお話をさせていたいただきます。

この世界には色々な環境に色々な種類の草花、草木が生えています。何日も雨が降らず暑い日が続いていました。ある日、たくさんの雨が降り出しました。草花、草木は、その雨を受け、元気を取り戻すことができました。降る雨の量は同じですが、小さな草花と大きな樹木では、受け取る雨の量は違います。でも、小さな草花が樹木をうらやましが、たり、大きな樹木が草花をばかにしたりすることはありません。環境や大きさに違いはあっても雨は平等に降りそそぎ、草花、草木は大きく成長し、それぞれの花や実がなりました。

このお話の雨は仏様の教え。草花、草木は私達を表しています。私達は生まれ育った環境も違いは性格や体つき、考え方もそれぞれです。仏様の教えは、それぞれが等しく成長できるように平等に注がれています。この事に気が付き、教えを素直に受け取めて自分の成長の糧にして人生を豊かに生きていきたいと思いますね！

私は50才手前にして、チャレンジしてみたい事が色々出てきました。自分にとってプラスになる事、若い頃のチャレンジなら時間も能力もあつたにしように...と思いつながらにも楽しく頑張っています。自分の成長のためには、足りない部分を改善したり、考え方を改めなければいけない事も出てくるかと思いますが、頑固にならず、気分を悪くすることなく教えていたことに事を意識していくことが大切ですね！！

< 11月行事予定 >

- 11月9日(水) 9:00~ ワックスかけ
- 13日(日) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
小松原法難会
大古久尊天
- 18日(金) 10:00~ 鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会
- 27日(日) 9:00~ 大掃除
終了後 役員会

< 11月住職の予定 >

寺院にて法務

< 11月の予定 >

- | | | |
|----------|---------|--------|
| 11月6日(日) | 各々の時間で" | 清掃、準備 |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| 12日(土) | | |
| 13日(日) | 法要後 | 片付け、準備 |
| 14日(月) | 各々の時間で" | 清掃、準備 |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| 17日(木) | | |
| 18日(金) | 法要後 | 片付け、準備 |